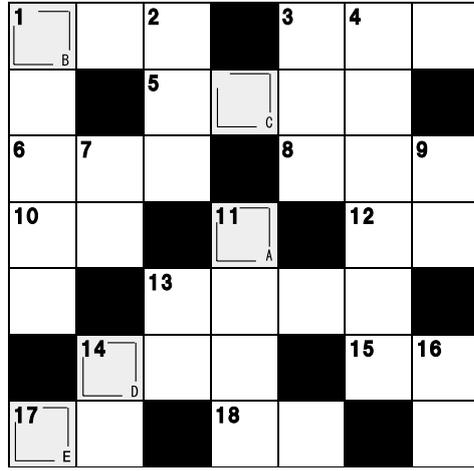


クロスワードに挑戦!

タテ・ヨコの問題を解いていき、A～Eの文字を並べて言葉を作ってね!
ヒント そろそろ始めますか



【タテの問題】

1. つがるちゃんはいわゆる
2. プレゼントなどを結ぶ華やかな紐
3. 県産食材を使って健康的な食事を伝える人。あおもり一命人
4. レシーブ、トス、スパイク
7. 賃借した金銭に対して一定利率で支払われる対価のこと
9. 一番、一電、居一
11. つがる市民の歌3番「あ〜こはつがる、〜つがる〜」
13. 織田信長が明智光秀に討たれた事件、本能寺の〜
14. 乳の出る神様として崇められる木、一本〜病院とかけて禁煙と解く。その心はごちうも
16. しっかりした〜が必要です。

【ヨコの問題】

1. 何の関連もないこと、縁も〜もない
- 隣のは青く見える
- 11月第3木曜日、〜ヌーボ〜の解禁日です
- 首が長い動物
- ホット⇕
8. ハヤシライスの中に隠れているのは何の木?
10. ゲームの最後に現れる強い敵、ラスト〜健康に気を付け、〜な食事を心がけましょう
13. はやぶさは小惑星〜機
14. 〜は友を呼ぶ
15. 芥川龍之介の代表作、〜の糸
17. 英語でタイガー、日本語で?

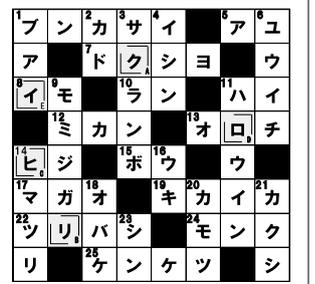
クロスワード正解者の中から抽選で5名の方に「県民手帳+a」をプレゼント。(毎月25日必着)

- ▶**応募方法** ハガキに答え、住所、氏名(未成年の場合は保護者名も記入)、年齢、アンケートを書いて、下記宛先にご応募ください。
- ▶**応募先** 〒038-3192 つがる市役所 秘書広報課
- ▶**アンケート** 今月号で良かった点や悪かった点、今後取り上げてほしい内容などがあればお寄せください。

10月号の答えは
「クリヒロイ」

でした。

41名様より応募していただきました。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



CIR Column 国際交流員 コラム



「〜が〜」が〜

国際交流員 テパオリ・トーマス

このコラムでは寿司、ラーメン、肉など食に関連することを数々取り上げてきました。地元のアメリカーニョー八ンプシャー州とは全く異なる食習慣を持つつがる市で生活していることにより、私の料理や食文化に対する興味や「好き嫌い」について書いたことはありますが、今回はさらにテーマの範囲を絞りたいので、好みが分かれる発酵食品について書きたいと思えます。

増えてきて、早速、外国人の間で悪名高い納豆を食べようになりました。最初はそこまで美味しくないと思いましたが、食べる回数を重ねるにつれて好きになり、今は好物です。それでも納豆は序の口で、初めて塩辛を食べた時はとても衝撃的でした。あまりにも刺激的な味で最初は自分の舌を疑いました。つがる市で一人暮らしを始めてから常備するようになりました。当然のことですが、これらの経験に対し日本在住の外国人の知り合いから共感を全く得られませんでした。昔は臭いチーズを食べて兄弟にドン引きされたことがありますが、それとよく似ている反応でした。そして一番最近の発見としては、つがる市のスーパーに売っている「飯寿司」です。東北のなれずしのおすすめで食べたものです。これも私好みの濃い味で、もっと早く出会いたかったと思うほどです。私の食べ物の趣味が変わっていることを知っている同僚がすすめてくれなければ、ずっと知らずにいた可能性もありました。

発酵食品は、保存食の必要性から生まれた食べ物のジャンルで、「くさい」ということばが共通認識だと言えるでしょう。私が最初に発酵食品に出会ったのは、まだ小学生の時に母さんがサワークラウトを作った時です。その時の私はまだ好き嫌いがあつたのですが、そのサワークラウトの酸味と匂いは私をとりこにしました。近年、健康食品が好きなお母さんはかなり前からの信者で、サワークラウトの他に味噌を使った料理を作ったりもしていました。お父さんも発酵食品だとキムチが好きなので、その影響で私も匂いを気にせずいくらかでも食べられます。匂いが強い食べ物が好きというのは、両親の影響だと思えます。

日本に来る前も、発酵食品が好きだったとはいえ、そこまで幅広くたくさん種類を食べたわけではありませぬ。アメリカでは強く匂う食べ物苦手な人が多くいるので、自宅以外で食べる機会が少なかつたと思います。しかし、日本に来てその機会が

増え、早稲、外国人の間で悪名高い納豆を食べようになりました。最初はそこまで美味しくないと思いましたが、食べる回数を重ねるにつれて好きになり、今は好物です。それでも納豆は序の口で、初めて塩辛を食べた時はとても衝撃的でした。あまりにも刺激的な味で最初は自分の舌を疑いました。つがる市で一人暮らしを始めてから常備するようになりました。当然のことですが、これらの経験に対し日本在住の外国人の知り合いから共感を全く得られませんでした。昔は臭いチーズを食べて兄弟にドン引きされたことがありますが、それとよく似ている反応でした。そして一番最近の発見としては、つがる市のスーパーに売っている「飯寿司」です。東北のなれずしのおすすめで食べたものです。これも私好みの濃い味で、もっと早く出会いたかったと思うほどです。私の食べ物の趣味が変わっていることを知っている同僚がすすめてくれなければ、ずっと知らずにいた可能性もありました。

日本で生活していることでたくさん発酵食品に触れることができ、自分の味覚を発達させることさえできたと思います。好みが分かるとはいえ、発酵食品は歴史が古く、私が飯寿司を食べた時のようにその地域の文化に触れる機会でもあるので、苦手な味でも挑戦する価値があると思います。みなさんも「くさい」食べ物に挑戦してみてください(ごちうも)。

こんにちは！地域おこし協力隊です

市に移住し、地域資源を活かしたまちづくりに取り組む「地域おこし協力隊」の活動を報告します。

吉田 涼香 隊員 (農林水産課)

秋も深まり、冬一步手前：肌寒い日々も続き、体調管理が今まで以上に大切な時期になりましたね。コロナの影響でなかなか思うように動けない中ではありますが、現在「すしこ」の基本的な情報をまとめた冊子を作成しています。冬の間完成させる予定です。文献が全く残っていないすしこですが、地域によって、家庭によって作り方・味が違い、口伝で伝わっているのが、おもしろいなあと感じています。

これからはお漬物の作業が増えていきますね。今年初めて、毛豆の豆漬けを作ってみました。浅漬けの状態で食べられるように塩の量を少な目にしましたが、大量に使えば次の年まで持つとのこと。毛豆の時期は終わってしまいました。今回のレシピで作り方を紹介しているので、作ったことない方はぜひ来年作っていただきたいです。他にも、赤カブの千枚漬けやたくあんにも挑戦しようという計画。秋は楽しいことがたくさんです(^^)



市内外から買い集めたすしこ

佐藤 茉優 隊員 (地域ブランド対策室)

心地よい秋風が吹き抜ける秋天の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年の夏は昨年と比べ、新型コロナウィルス感染拡大防止のため大規模なイベントがなく、静かな夏を過ごすこととなりました。

7月からは市産のメロンやスイカの収穫が始まり、毎年恒例となっているプランターメロンをダイソーイオンモールつがる柏店前風除室に設置し、成長を観察することができました。プランターメロンは今年も大成功を収め、私が司会として参加した収穫祭には育美幼稚園の皆さんが収穫のお手伝いをしてくださいました。

他にも、市のマスコットキャラクターつがるちゃんが、今年で最後の開催となる「ゆるキャラグランプリ2020」に参加し、全国で44位、青森県内で惜しくも2位という大奮闘を見せてくれました。

今年でグランプリは終了してしまいましたが、今後もマスコットキャラクターとしてつがる市のPR活動をがんばるつがるちゃんの応援を、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



プランターメロン収穫祭

深掘り！縄文遺跡ものの知り講座

世界文化遺産登録を目指す亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の魅力や情報発信のため、令和元年度から「つがる縄文遺跡案内人」が週末に遺跡現地でガイドを実施しています。今年度は、ガイド登録者や一般市民の方々を対象に、2つの遺跡をより深く知っていただくための講座を開催します。

当市学芸員が、テーマ別に遺跡の情報を深掘りしてお伝えします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

対象 ガイド登録者、一般市民 ※定員40名(先着順)

開催日時 第1回 令和2年12月12日(土) 13時30分～14時30分

第2回 令和3年1月23日(土) 13時30分～14時30分

会場 松の館 2階視聴覚室

講座内容 第1回 亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚の研究のあゆみ

第2回 亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚に生きた縄文人の暮らしと環境

申し込み 下記まで電話でお申し込みください。申し込み期限は、第1回目が12月9日(水)、第2回目が1月20日(水)。受付時間は、平日8時30分～17時15分です。

【申し込み・問い合わせ先】 社会教育文化課 電話49-1194(直通)

